

第56回小金井市新型インフルエンザ等対策本部部会	日 時	令和3年2月2日(火) 10:00~10:55	場 所	議場
出席者	西岡市長、住野副市長、大熊教育長 天野企画財政部長、加藤総務部長、高橋庁舎建設等担当部長、柿崎環境部長、中谷福祉保健部長、大澤子ども家庭部長、若藤都市整備部長、北村議会事務局長、大津学校教育部長、藤本生涯学習部長、梅原企画政策課長、宮奈地域安全課長、石原健康課長、健康係主任			
議 題	1 新型コロナワクチン接種準備進捗状況について 2 各部連絡事項			
資 料	1 新型コロナウイルスワクチン進捗状況(令和3年2月2日) 2 ワクチン接種会場(案) 3 高齢者施設への新型コロナウイルス感染症に係る予防接種を行う体制の構築について 4 高齢者施設における新型コロナウイルスワクチン接種について【全体概要】			
(進行：福祉保健部長)				
<p>市長：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言が3月7日まで延長になる。それに伴う各部各種の対応を早急に行うこと。 ・新規感染者数は減少に転じたがまだまだ予断を許さない状況である。 ・自宅療養中に容体悪化する人も多い。自宅療養者への支援についても新設のコロナ担当もできたため、保健所任せではなく、市としてできることを考え取り組んでほしい。 ・国の緊急事態宣言延長に伴い、東京都の緊急事態措置も延長になる見込み。今夕、都知事臨時会見。 ・医師会、薬剤師会と協力し、コロナワクチン接種の準備、緊急対応方針第5弾発令を進めていく。 ・2月下旬以降、市内においても医療従事者への接種をスタートさせたい。 <p>1 新型コロナワクチン接種準備進捗状況について</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策担当課長：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスワクチン接種について、小金井太陽病院、桜町病院、武蔵野中央病院、小金井リハビリテーション病院に訪問済みで、本日午後、小金井病院に訪問し、市内5病院への訪問が完了予定。 ・小金井リハビリテーション病院を除く4病院は自院の医療従事者のほか市内の医療従事者の接種も可。 ・小金井リハビリテーション病院は同院をかかりつけ医にしている患者も少なく、通常診療で注射を打つことも少ないため、住民接種は困難だが、入院患者への接種なら可能。また、接種会場として敷地の提供は可。 ・東京都市保健衛生担当課長会が自治会館で開催された。医療従事者への接種も市区町村で調整するよう東京都より話があった。 ・新型コロナウイルスワクチンの各種体制確保に関する情報交換会があり、練馬区モデルについて議論。 ・新型コロナウイルス感染症に係る関係機関連絡会では、ワクチン接種に関する情報交換もあり、他市では市報の臨時号を発刊し、ワクチン接種に関する広報を実施するもよう。 ・全国の動きでは、川崎市の訓練が大々的に報道されたほか、練馬区は公文書も公開されている。 <p>福祉保健部長：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・26名の市内感染者について、保健所に確認したところ、年末年始の感染者急増で集約できなかった感染者数をまとめて計上したために生じた事象であり、クラスターの発生ではないことを確認済み。 ・練馬区モデルは、区内を4つに分け、地域ごとに大病院があり、それをメインに各クリニックをサテライトとして接種するもので、個別接種が中心となる。 ・小金井市も練馬区モデルを検討するものの、集団+個別で行う方向。 ・学校での接種についても校長会でその認識を共有してもらおう。 <p>市長：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療従事者の範疇が広がっているため、一定の整理が必要。医療従事者に含まれる人を各部で確認してほしい。 ・新設のコロナ担当で全ての業務をできるわけではないため、庁内横断的なチームが必要である。課長職者で横断チームを作ってほしい。 <p>福祉保健部長：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接種会場は、水曜、木曜、土曜、日曜を常設とする。 ・早急に接種計画をまとめないといけない。 				

市長：

- ・市職員で医療従事者として優先接種する人はいるか？
- 国の指針では消防士や感染症に携わる保健師等とされており、集団接種時に医師と共に行動する人は対象なるかと思う。(新型コロナウイルス感染症対策担当課長)
- ・保健センターに設置した発熱外来は3月末の終了でよいか？
- 需要の急増等の特殊事情がない限り、3月末で終了・会場撤収となる。(新型コロナウイルス感染症対策担当課長)

2 各部連絡事項

生涯学習部長：

- ・コロナワクチン接種会場の候補地になっている栗山公園運動施設は現在、検討中である。大規模修繕の予定もあり、指定管理者への休業補償等も検討が必要であるため。

福祉保健部長：

- ・練馬区モデルは、早く・近く・安全にをスローガンに進めており、本市も参考にしたい。
- ・練馬区は200か所以上の医療機関が接種対応可能とのことだが、本市は36か所程度になるもよう。
- ・新型コロナワクチン接種の広報活動について、新設のコロナ担当からは人員を出せないため、広報秘書課に協力願いたい。

以上